

健康栄養学科

井澤幸子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 地域在住高齢者における健康状態の把握と生活背景の検討	共著	2017年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 2017;13	植村瑠実, 井澤幸子	pp.43-52
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 特別養護老人ホーム入所者の年齢による栄養指標と生命予後の関連の相違:85歳未満と85歳以上	学会 発表	2017年10月	第39回日本臨床栄養 学会総会 幕張メッ セ	井澤幸子, 榎 裕美, 長谷川潤, 廣瀬貴久, 葛谷雅文	
2. 健康長寿をめざす食生活	講義	2018年4月	岩倉市シニア大学	井澤幸子	
3. 心と身体のリフレッシュ～食べ方と食事内容の評価と「咀嚼が必要な食事」について～	講義	2018年8月	平成30年度 教員免 許状更新講座 C 3	井澤幸子	

市原啓子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
フィブロネクチン基質におけるエンビジタンパク質による細胞の接着伸展の亢進	単著	2018年3月	心身科学研究所紀要, 心身科学, 第10巻1 号		pp.85-90

上野有紀

D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 「病気になるにくい食生活を考えよう～少し未来の話～」	講義	2018年2月	愛知県立武豊高校模 擬講義, 愛知県知多郡	上野有紀	
2. 「酸化食用油による神経細胞死誘導機構」	学会 発表	2018年3月	日本農芸化学会2018 年度大会, 名古屋	上野有紀, 川本善之, 中根大和, 夏目梨苺, 三浦叶子, 大澤俊彦	
3. 「合成メラニンによるがん細胞増殖および遊走の抑制」	学会 発表	2018年9月	第91回日本生化学会 大会, 京都	川本善之, 近藤紘本, 小森光華, 大西新一郎, 杉江麻友香, 山野裕基, 小林 果, 上野有紀, 武田湖洲恵	

宇野智子

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
医学のあゆみ BOOKS エビデンス漢方診療 4. 糖尿病と漢方治療	共著	2018年8月	医歯薬出版株式会社	渡邊賢治 編, 宇野智子, 佐藤祐造	pp.52-57
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
【総説】糖尿病の運動療法 体質改善を目指して	共著	2018年6月	日本体質医学会雑誌 (1347-7137)80巻2号	佐藤祐造, 森 圭子, 宇野智子, 長崎 大, 濱島一樹, 小栗直子	pp.150-158

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
大学生に対するリプロダクティブヘルスプロモーションの試み	学会発表	2017年10月	第62回日本生殖医学会学術集会, 下関	後藤真紀, 岩瀬 明, 糠谷敬子, 大澤 功, 外ノ池隆史, 宇野智子, 青山節子, 都築一夫, 村岡彩子, 吉田沙矢子, 林祥太郎, 永井 孝, 笠原幸代, 清水 顕, 加藤奈緒, 石田千晴, 邨瀬智彦, 大須賀智子, 滝川幸子, 吉川史隆	
大学生に対するリプロダクティブヘルス/ライツ支援と教育～官学・学学の展開～	学会発表	2017年11月	第55回全国保健管理研究集会, 沖縄	糠谷敬子, 森山恭子, 宇野智子, 外ノ池隆史, 青山節子, 都築一夫, 後藤真紀, 岩瀬 明, 大澤 功	
糖尿病の最新治療－健康長寿を目指して－	講演	2017年11月	名古屋健康カレッジ, 名城公園キャンパス	宇野智子	
安全管理者研修「健康起因事故防止対策」	講演	2017年10月	一般社団法人愛知県トラック協会	宇野智子	
安全管理者研修「健康起因事故防止対策」	講演	2017年11月	一般社団法人愛知県トラック協会	宇野智子	
特別講義「積極的に使用したいSGLT2阻害薬」	座長	2018年2月	Diabetes Area Meeting in 岡崎	宇野智子	
他動式体幹運動機器を用いた運動が糖代謝に及ぼす急性効果	学会発表(口頭)	2018年5月	第61回日本糖尿病学会年次学術集会, 東京	宇野智子, 長崎 大, 梶岡多恵子, 佐藤祐造	
ワークショップ1 私の口訣～こういう症例があればこの漢方を！	座長	2018年6月	第69回日本東洋医学会学術総会, 大阪	宇野智子	
ワークショップ1 私の口訣～こういう症例があればこの漢方を！「糖尿病領域の漢方治療」	講演	2018年6月	第69回日本東洋医学会学術総会, 大阪	宇野智子	
教育講演Ⅱ 糖尿病領域と漢方治療	講演	2018年9月	日本東洋医学会愛知県部会2018, 名古屋大学医学部鶴友会館	宇野智子	

榎本眞理

A (著書)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. おかずレパトリー腎臓病	共著	2018年4月	女子栄養大学出版部	菅野義彦, 榎本眞理	pp.12-95
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1. 食物アレルギー代替食品候補の選定におけるレーダーチャート面積の有用性	学会	2018年1月	第21回日本病態栄養学会, 京都	若菜真実, 山崎裕子, 岩佐太一郎, 部谷祐紀, 磯野瑤子, 大塚愛珠, 武藤美紀子, 若菜宜明, 本間和宏, 菅野義彦, 田中越朗, 榎本眞理	
2. 高尿酸血症患者の自己式食事記録法によるプリン体摂取量と食生活の傾向	学会	2018年1月	第21回日本病態栄養学会, 京都	恩田理恵, 榎本眞理	
3. 大学病院におけるアレルギー患者に対する栄養・給食管理	学会	2018年1月	第21回日本病態栄養学会, 京都	藤村優衣, 藤田紗妃, 和田安代, 菅野義彦, 榎本眞理	

4. 保護者の食意識と児童の朝食パタンおよび食生活状況との関連	学会	2018年6月	第7回日本栄養改善学会東海支部学術総会	酒井映子, 金原明花, 北川千加良, 森岡亜有, 榎本真理	
5. 美味しい・楽しい・ヘルシーな病院食を目指してー低栄養を予防するー	講演会	2018年7月	病院ツアー・チーム医療の現場リアル体験イベント	榎本真理	
6. 未来を着実に拓く管理栄養士の仕事	講演会	2018年8月	心身科学部オープンキャンパス健康栄養学科 模擬授業	榎本真理	
7. 児童の朝食パタンからみた保護者の食意識および生活習慣	学会	2018年9月	第65回日本栄養改善学会, 新潟	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 榎本真理	
8. スポーツの秋、身体を動かしました、そのエネルギーどれくらい？	講演会	2018年11月	名古屋健康カレッジ	榎本真理	

呉 焜秋

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
Rapid on-site dual optical system to measure specific reactive oxygen species ($O_2^{\cdot -}$ and OCl) in a tiny droplet of whole blood	共著	2018年8月	PLOS ONE. 2018; 13(8)	Kazumura K, Takeuchi K, Hara A, Miwa T, Hattori M, Wu Y, Morishita M, Tsuchiya H, Osawa T	e0200573
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
<i>Kopsia arborea</i> 含有新規アルカロイドの構造解析	学会 発表	2018年9月	第65回 日本生薬学会 年会, 広島	五十嵐舞, 北島満里子, Wu Y, 小暮紀行, 高山廣光, Zhang R.	

大澤俊彦

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 第1章 血流障害の原因	共著	2018年7月	第1章 血流障害の原因、血流改善成分の開発と応用(監修: 大澤俊彦)、シーエムシー出版	大澤俊彦, 永井 雅	pp. 3-11
2. 第10章 代謝・栄養	共著	2018年9月	第10章 代謝・栄養、代謝センシング~健康、食、美容、薬そして脳の代謝を知る~(監修: 三林浩二)、シーエムシー出版	三輪茉那美, 大澤俊彦	pp.89-96
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Effects of dark chocolate intake on Physical Functions in Japanese subjects	共著	2018年	Advances in Clinical and Translational Research, Vol. 3, Issue 3,	Natsume M, Ishikawa H, Kawabe Y, Watanabe T and Osawa T	Article ID: 100012

2. Rapid on-site dual optical system to measure specific reactive oxygen species (O ₂ ⁻ and OCl ⁻) in a tiny droplet of whole blood	共著	2018年	PLOS ONE, 13(8)	Kazumura K, Takeuchi K, Hara A, Miwa T, Hattori M, Wu Y, Morishita N, Tsuchiya H and <u>Osawa T</u>	e0200573
3. 大澤俊彦、総論：抗酸化食品研究の現状と動向	単著	2018年	アグリバイオ、Vol.2(8)		pp. 6-8
4. II 今日の話 1. チョコレート効果	単著	2018年	日本食品安全協会誌、Vol.13(4)		pp.234-242
C (翻訳・資料)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
機能性食品の現状と将来展望	共著	2017年7月	薬事日報	大澤俊彦、池田貴子、 水野篤典	pp.18-23
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1. 農林水産物・食品の機能性と健康長寿社会	特別 講演	2017年11月	アグリビジネス創出 フェア(主催：NPO 東 海地域生物系先端技 術研究会)名古屋	大澤俊彦	
2. フィトケミカルによる脳機能改善効果	セミ ナー 講演	2017年11月	脳機能改善食品素材 セミナー、東京	大澤俊彦	
3. 抗酸化・抗炎症・自然免疫賦活同時評価細胞試験によるカカオポリフェノールの機能評価2018.2	学会 発表	2018年2月	酸化ストレス学会東 海支部大会、静岡	三輪茉那美、望月美佳、 岡部知恵子、敷村公子、 土屋広司、竹内康造、 夏目みどり、大澤俊彦	
4. フィトケミカルとがん予防	招待 講演	2018年6月	椋山フォーラム(攻め の栄養学でがんを防 ぐ)、名古屋	大澤俊彦	
5. Effect of pineapple intake on various health benefits in Japanese women	学会 発表	2018年6月	2018 KoSFoST International Symposium and Annual Meeting, Busan, Korea	Masuda T, Ishikawa H, Takimoto Y, Seki S, Hotta T, Araki Y, <u>Osawa T</u>	
6. Health benefits of soy isoflavonoid metabolites produced by intestinal bacteria	招待 講演	2018年6月	2018 KoSFoST International Symposium and Annual Meeting, Busan, Korea	<u>Osawa T</u> , Ishikawa H, Niwa T and Yokoyama S	
7. 大澤俊彦、健康長寿と「攻めの栄養学」	講演 会	2018年7月	ブロンズの会特別講 演	大澤俊彦	
8. 大澤俊彦、機能性表示食品の市場拡大と臨床研究の位置づけ、2018.7.25	招待 講演	2018年7月	ウエルネスフードジ ャパン2018シンポジ ウム、東京	大澤俊彦	
9. 抗酸化食品の可能性を探る	招待 講演	2018年7月	ウエルネスフードジ ャパン2018シンポジ ウム、東京	大澤俊彦	
10. 大澤俊彦、カカオポリフェノールによる脳内老化制御機構の解明	招待 講演	2018年7月	糧食研究会、東京	大澤俊彦	

11. 光センシングによる簡便な生体内抗酸化システムの開発	学会発表	2018年8月	日本食品科学工学会第65回大会, 仙台	數村公子, 竹内康造, 九澤香織, 波多野薫子, 永井 雅, 土屋広司, 森下直計, 服部将貴, 内藤通孝, 大澤俊彦
-------------------------------	------	---------	---------------------	---

金原明花

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 保護者の食意識と児童の朝食パターンおよび生活習慣との関連	学会発表	2018年6月	第7回日本栄養改善学会東海支部会学術総会	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜由, 金原明花, 榎本真理	
2. 子ども大学につきん	講座	2018年7月	日進市生涯学習課「健康料理講座」, 日進市	金原明花	

酒井映子

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著共著	発行・発表年月	発行所, 発表雑誌(及び巻号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 食形態の違いによる食後血糖値の変動－固形・ゼリー・液体の3形態の比較－	共	2017年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要 第13号	末田香里, 麻山真生, 後藤洋希, 宮川侑実, 宮園飛鳥, 酒井映子	pp. 1 - 6
2. 野菜摂取に関する消費者行動の要因分析	共	2017年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要 第13号	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 末田香里	pp.33 - 42
3. 保護者の箸使い教育とその関連要因	共	2017年12月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要 第13号	北川千加良, 渡邊智之, 森岡亜有, 末田香里, 酒井映子	pp.53 - 63
4. 大豆・レッドキドニーが米飯摂取後の食後血糖値に及ぼす影響－食べる順番の検討－	共	2018年3月	心身科学研究所紀要心身科学 第10巻第1号	末田香里, 小島沙希子, 近藤絢水, 後藤祐二, 西郷裕香, 中野将太, 古井秀実, 酒井映子	pp.77 - 83
5. 苦味・渋味食品の喫食とBMIとの関係	共	2018年4月	日本調理科学会誌 Vol.51、No.2	山野善正, 次田隆志, 合谷祥一, 酒井映子, 次田一代, 早川文代	pp.105 - 111

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 大豆・レッドキドニーが米飯摂取後の食後血糖に及ぼす影響－食べる順番の検討	学会	2018年1月	第21回日本病態栄養学会, 京都	末田香里, 小島沙希子, 近藤絢水, 後藤祐二, 西郷裕香, 中野将太, 古井秀実, 酒井映子	
2. 生活習慣病ハイリスク者の共食に関連する食生活要因	学会	2018年1月	第21回日本病態栄養学会, 京都	酒井映子, 末田香里	
3. 分野別(栄養学・薬学・看護学)アクティブ・ラーニング対話集会「ICT活用による栄養マネジメント学修の教育改善モデル－栄養学分野－」	講演会	2018年1月	公益社団法人私立大学情報教育協会、栄養学教育FD/ICT活用研究委員会、帝京平成大学, 東京	石碓由美子, 武藤志真子, 中川靖枝, 市丸純平, 原島恵美子, 酒井映子	
4. 高浜市第8回子ども食育発表会 ワークショップ「いただきます～笑顔の食事～」	コーディネーター	2018年2月	高浜市子ども食育推進協議会、高浜市立翼小学校, 高浜	酒井映子	
5. 2018年度あいち食育サポート企業団講演会「あいちの食育活動の課題と展望」	講演会	2018年4月	あいち食育企業団、ザサイプレスメルキュールホテル名古屋, 名古屋	酒井映子	

6. 保護者の食意識と児童の朝食パタンおよび食生活状況との関連	学会	2018年6月	第7回日本栄養改善学会東海支部学術総会	酒井映子, 金原明花, 北川千加良, 森岡亜有, 榎本真理	
7. 愛知県西部における野菜摂取状況と摂取意識に関する検討	学会	2018年6月	第7回日本栄養改善学会東海支部学術総会	平光 萌, 酒井映子, 北森一哉, 関たづ子, 今枝奈保美, 三田有紀子, 柴田 清, 浅田英嗣, 後藤千穂	
8. 児童の朝食パタンからみた保護者の食意識および生活習慣	学会	2018年9月	第65回日本栄養改善学会, 新潟	酒井映子, 北川千加良, 森岡亜有, 榎本真理	

丸山和佳子

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Modification of α -synuclein by lipid peroxidation products derived from polyunsaturated fatty acids promotes toxic oligomerization: its relevance to Parkinson disease.	共著	2018年1月	J Clin Biochem Nutr. 2018 May;62(3)	Shamoto-Nagai M, Hisaka S, Naoi M, <u>Maruyama W</u>	pp.207-212
2. Monoamine Oxidase A and B: Eternally Enigmatic Isoenzymes	Editor	0000年00月	Springer		
B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. Type A and B monoamine oxidases distinctly modulate signal transduction pathway and gene expression to regulate brain function and survival of neurons.	共著	2018年1月	J Neural Transm (Vienna). 2018 Nov;125(11) doi: 10.1007/s00702-017-1832-6.	Naoi M, <u>Maruyama W</u> , Shamoto-Nagai M	pp.1635-1650
2. Neurotrophic function of phytochemicals for neuroprotection in aging and neurodegenerative disorders: modulation of intracellular signaling and gene expression.	共著	2018年1月	J Neural Transm (Vienna). 2017 Dec;124(12): doi: 10.1007/s00702-017-1797-5.	Naoi M, Inaba-Hasegawa K, Shamoto-Nagai M, <u>Maruyama W</u>	pp.1515-1527
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 長寿社会における栄養と健康を考える - 認知症を防ぐ生活習慣とは? -	公開講座	2017年11月	愛知学院大学 公開講座, 名古屋	丸山和佳子	
2. 神経老化を司る栄養シグナルについて	学会発表	2017年10月	第17回神経科学研究会, 東京	丸山和佳子, 永井雅代	
3. 神経科学研究会	代表世話人	2017年10月	第17回神経科学研究会, 東京	丸山和佳子	
4. Quantitative analysis of myeloperoxidase (MPO) and brain-derived neurotrophic factor (BDNF) in plasma and saliva in aged	学会発表	2018年9月	神経化学大会, 神戸	Masayo Shamoto-Nagai, Kanichiro Nishiguchi, Norinaga Kojima, Jun Takebe, Makoto Naoi, <u>Wakako Maruyama</u>	
5. Accumulated oxidative injury in neuronal ageing and Parkinson disease	シンポジウム	2018年9月	神経化学大会, 神戸	Wakako Maruyama	

望月美佳

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
抗酸化・抗炎症・自然免疫賦活同時評価細胞試験によるカカオポリフェノールの機能評価	学会発表	2018年2月	日本酸化ストレス学会東海支部 第6回学術集会	三輪茉那美, 望月美佳, 岡部知恵子, 数村公子, 土屋広司, 竹内康造, 夏目みどり, 大澤俊彦	
ヒト腸内細菌によるクルクミン代謝に関する化学的研究	学会発表	2018年3月	公益社団法人 日本農芸化学会 2018年度名古屋大会	丹羽俊夫, 横山慎一郎, 望月美佳, 大澤俊彦	
飲みニケーション ～お酒の上手な付き合い方～	講演会	2018年2月	いちい信用金庫・次世代倶楽部講演会	望月美佳	

森 圭子

B (論文)					
著書、論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所、発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
糖尿病の運動療法：体質改善を目指して	共著	2018年6月	日本体質医学会80巻2号	佐藤祐造, 森 圭子, 宇野智子, 長崎 大, 濱島一樹, 小栗直子	pp.150-158
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1. 豊山町「食育ひろば」	食育指導	2017年11月	豊山町保健センター	森 圭子, 公衆栄養学ゼミナール学生3年の11名	
2. 平成29年度北名古屋市認知症啓発事業(高齢福祉課との連携)	ポスター発表と試食提供	2017年11月	北名古屋市文化勤労会館(北名古屋市)	森 圭子, 公衆栄養学ゼミナール学生3年の11名	
3. 平成29年度北名古屋市ふれあいフェスタ(高齢福祉課との連携、誤嚥・フレイル予防)	ポスター発表と試食提供	2017年11月	北名古屋市健康ドーム(北名古屋市)	森 圭子, 公衆栄養学ゼミナール学生3年の11名	
4. 平成29年度第2回名古屋市介護予防・認知症予防プログラム事業者研修会	講師「栄養」	2018年2月	名古屋市総合福祉会館(名古屋市)	森 圭子	
5. 栄養学雑誌投稿論文査読	査読1報	2018年2月	日本栄養改善学会, 栄養学雑誌	森 圭子	
6. 平成30年度東海農政局における農村振興施策に関する選定審査委員会、農山漁村振興交付金選定審査委員会	会議	2018年2月	東海農政局(名古屋市)	森 圭子	
7. 平成29年度第1回名古屋市介護予防・認知症予防プログラム運営委員会	会議	2018年3月	名古屋市総合福祉会館(名古屋市)	森 圭子	
8. 瀬戸市学校給食地場食材利用拡大に向けた生産・供給システムの構築に係る調査検討会議	会議(座長)	2018年4月	瀬戸市役所(瀬戸市)	森 圭子	
9. 高齢者の真の体重評価に及ぼす衣服重量の影響 - 介護予防への活用のために -	学会発表(口頭発表)	2018年6月	第7回日本栄養改善学会東海支部学術総会(名古屋市)	森 圭子	

10. 北名古屋市第2次食育基本計画の評価と第2次食育基本計画の策定委員会	会議(座長)	2018年6月	北名古屋市健康ドーム(北名古屋市)	森 圭子	
11. 栄養学雑誌投稿論文査読	査読1報	2018年6月	日本栄養改善学会, 栄養学雑誌	森 圭子	
12. 瀬戸市推奨農産物「せとのもの」認証審査委員会	会議	2018年6月	瀬戸市役所(瀬戸市)	森 圭子	
13. 平成30年度東海農政局都市農村共生・対流総合対策交付金評価委員会	会議	2018年8月	東海農政局(名古屋市)	森 圭子	
14. NPO名古屋臨床薬剤師研究会平成30年度研修セミナー「腎機能を守る栄養と食事指導」	講演	2018年8月	名古屋臨床薬剤師研修会高見研修センター(名古屋市)	森 圭子	
15. 東海農政局・コープあいちと愛知学院大学連携事業「災害時の備蓄食品を活用したレシピ開発と親子クッキング」開催	企画・司会・講師	2018年8月	愛知学院大学 日進キャンパス 14号館 2F 調理実習室	森 圭子, 公衆栄養学ゼミナール学生4名の11名	
16. ナトカリ計を用いた食習慣改善の取り組み－女子大生の食生活から－	学会発表(ポスター発表)	2018年9月	第65回日本栄養改善学会(新潟)	森 圭子	
17. 平成30年度名古屋市介護予防・認知症予防プログラム事業者研修会	講演	2018年9月	名古屋市立大学(医学部本部棟4階ホール)	森 圭子	

渡邊智之

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
神経管閉鎖傷害：葉酸摂取による予防	共	2018年1月	Vitamins (Japan), 92(1)	近藤厚生, 師田信人, 岡井いくよ, 山本憲朗, 近藤敦哉, 渡邊智之	pp. 1-17
Clinical Features and Prognosis According to Immunophenotypic Subtypes Including the Early T-Cell Precursor Subtype of T-Lymphoblastic Lymphoma in the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group ALB-NHL03 Study.	共	2018年1月	Journal of Pediatric Hematology/Oncology, 40(1)	Fukano R, Sunami S, Sekimizu M, Takimoto T, Mori T, Mitsui T, Mori T, Saito AM, Watanabe T, Ohshima K, Fujimoto J, Nakazawa A, Kiyokawa N, Kobayashi R, Horibe K, Tsurusawa M	e34 - e37

Risk-stratified therapy for children with FLT3-ITD-positive acute myeloid leukemia: results from the JPLSG AML-05 study.	共	2018年5月	Int J Hematol, 107 (5)	Shimada A, Iijima-Yamashita Y, Tawa A, Tomizawa D, Yamada M, Norio S, <u>Watanabe T</u> , Taga T, Iwamoto S, Terui K, Moritake H, Kinoshita A, Takahashi H, Nakayama H, Koh K, Goto H, Kosaka Y, Saito AM, Kiyokawa N, Horibe K, Hara Y, Oki K, Hayashi Y, Tanaka S, Adachi S	pp.586 - 595
--	---	---------	------------------------	---	--------------

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
中学生の運動中に生じた負傷の発生要因に関する研究 - 準備運動中の負傷に焦点をあてて -	学会発表	2017年11月	日本学校保健学会 第64回学術大会, 仙台	下村淳子, 久保仁美, <u>渡邊智之</u> , 佐藤祐造	
児童・生徒の負傷の発生要因に関する研究 - コホートの分析 -	学会発表	2017年11月	日本学校保健学会 第64回学術大会, 仙台	<u>渡邊智之</u> , 下村淳子, 久保仁美, 佐藤祐造	
hyper-QU の結果と生活習慣の関連 - セルフエスティームの改善のために -	学会発表	2018年9月	第61回東海学校保健学会学術集会, 鈴鹿	出川久枝, <u>渡邊智之</u> , 下村淳子, 外ノ池隆史	
	座長	2018年9月	第61回東海学校保健学会学術集会, 鈴鹿		